## 東京都知事小池百合子氏への提言

~日本の未来を担う子どもたちが安全で健やかに発達できる、戦略的保育政策のために~

保育園を考える親の会 「安心できる保育園ふやして! 2016」チーム 2016.08.31



「安心できる保育園ふやして!2016」チームとは

私たちは、保育園を考える親の会(1983年発足)から生まれた 有志のアクションチームです。

今の保育園のありかたに様々な課題意識を持つ、

現役の保育園パパ・ママを含む親たち約30名で構成されています。

### わたしたちが求めるもの

×数だけ揃える場当たり的な待機児童対策

○日本の未来を担う子どもたちが 安全で健やかに発達できる東京都らしい 戦略的保育政策

## 小池知事の「保育」政策プランについて

- (1)女性が健やかに希望を持って、生き、学び、働き、愛し、子供を産み、 育む社会を実現する。
  - →強く賛同し、期待しております。
- (2)「待機児童ゼロ」を目標に保育所の受け入れ年齢、広さ制限などの規制を見直す。保育ママ・保育オバ・子供食堂などを活用して地域の育児支援態勢を促進する。
  - →**受け入れ年齢**や**広さ制限**の見直しには、不安があります。 詳細は後述の通り。
- (3)あらゆる都内遊休空間を利用し、保育施設、介護施設不足を解消。 同時に、待遇改善等により保育人材、介護人材を確保する。
  - →強く賛同し、期待しております。
- (6)「残業ゼロ」などライフ・ワーク・バランスの実現を、都庁が先行実施する。
  - →保護者のライフ・ワーク・バランスが、子どもや保育所の負担にも大きく影響 しています。強く賛同し、期待しております。 4

1) 年齢制限の緩和について

#### 年齢制限の緩和が予想される小規模保育について

#### <本来の小規模保育のねらい>

- ① 待機児童が多い0~2歳児の受け皿対策
  ↑認可保育所の増設が進み、幼稚園の認定こども園化や預かり保育がふえれば、3歳以上児定員は余剰するという見込みを前提としている。
  - ② 小規模で簡易な施設にして、設置しやすくする ↑0~2歳児は家庭的な環境が望ましいこと、園庭がないことのデメリットが 幼児ほど大きくないことなどが前提になっている。

小規模保育の対象を3歳以上児までに広げることは、 制度の本来のねらいと意義を無視し、 子どもの利益を損ねる恐れがあります。 3歳以上児には、現在の小規模保育の制度では実現の難しい、

# ①園庭

②集団活動による遊びを通した教育

が必要です。



# ①園庭の必要性

## 調査では、園庭のない保育園では、複数の種目で 運動能力が全国平均を下回る。

#### 表1 幼児の運動能力の比較 (男児)

種目	年齢	全国調査(1997年)			本研究の調査			t-test
		平均	標準偏差	人数	平均	標準偏差	人数	
25m走 (秒)	4歲前半	8.01	1.05	827	7.84	1.31	7	n.s.
	4歳後半	7.37	0.82	1,175	7.39	1.03	6	n.s.
	5歳前半	7.00	0.81	1,298	6.89	0.53	6	n.s.
	5歳後半	6.60	0.79	1,419	6.98	0.46	4	
補 球(回)	4歲前半	2.5	2.3	805	4.3	2.2	4	
	4歳後半	3.5	2.6	1,079	4.8	3.3	6	n.s.
	5歳前半	4.8	2.8	1,183	5.5	2.8	6	n.s.
	5歳後半	5.9	2.8	1,180	2.3	3.2	3	
ソフトボール投げ (m)	4歲前半	3.2	1.4	775	3.3	1.5	7	n.s.
	4歳後半	4.0	1.7	1,112	3.7	1.0	6	n.s.
	5歳前半	4.9	2.0	1,214	4.7	1.4	6	n.s.
	5歳後半	6.9	2.4	1,200	5.3	2.1	4	
テニスポール投げ (m)	4歳前半	4.0	1.8	782	4.5	1.9	7	n.s.
	4藏後半	4.8	2.1	1,086	3.5	2.2	6	n.s.
	5歳前半	6.0	2.4	1,193	5.2	2.2	6	n.s.
	5歳後半	7.3	3.0	1,179	6.8	2.5	4	
両足連続とびこし	4歳前半	9.06	3.97	792	9.05	4.16	7	n.s.
(秒)	4歳後半	7.59	2.93	1,140	6.68	0.86	6	*
	5歳前半	6.79	2.33	1,247	5.72	1.70	7	n.s.
	5歳後半	6.06	1.80	1,230	6.61		1	
体支持持続時間 (秒)	4歳前半	18.8	17.8	833	18.0	10.4	7	n.s.
	4歳後半	27.4	24.6	1,153	15.1	7.40	6	*
	5歲前半	36.5	28.9	1,271	24.4	21.1	7	n.s.
	5歳後半	47.0	34.0	1,275	53.4	38.6	2	
立ち幅とび (cm)	4歲前半	77.8	18.6	843	87.7	18.2	7	n.s.
	4歳後半	89.0	18.6	1,177	91.0	16.9	6	n.s.
	5歲前半	96.3	18.4	1,294	102	11.5	7	n.s.
	5歳後半	106	18.3	1,286	112		1	

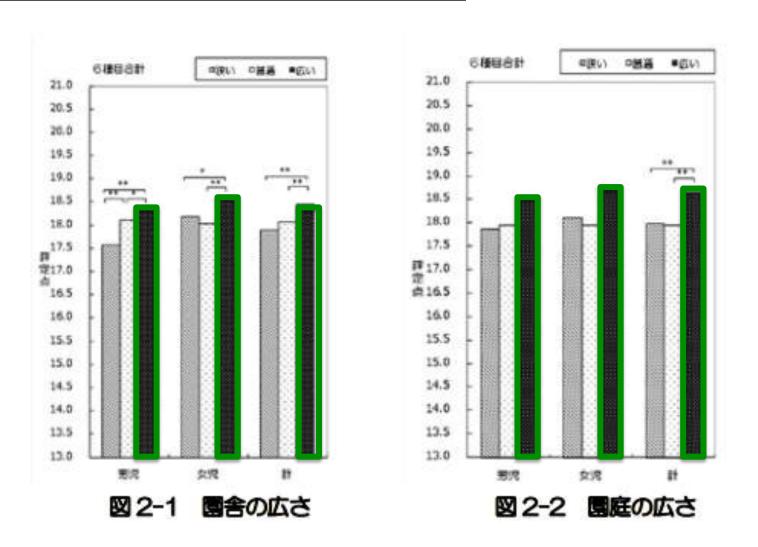
※少ないサンプル数ではあるが、7種目中5種目で、大多数が平均より下回っている。

※特に体を大きく動かす運動や、持久力が問われる種目で低い。

※調査対象となった園では、近隣の公園に連れていくなどの工夫は行っていた。

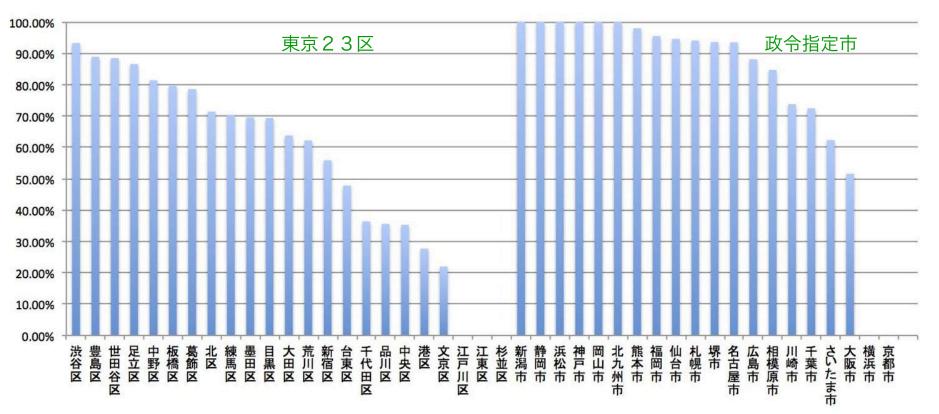
出典:1998年「園の物理的環境要因が幼児の運動能力に及ぼす影響の検討」鈴木康弘・池田裕恵・金森三枝(東洋英和女学院大学人間科学部)

## <u>同様に、園舎が大きく、園庭が広い園の方が、子</u> どもの運動能力も高くなる。



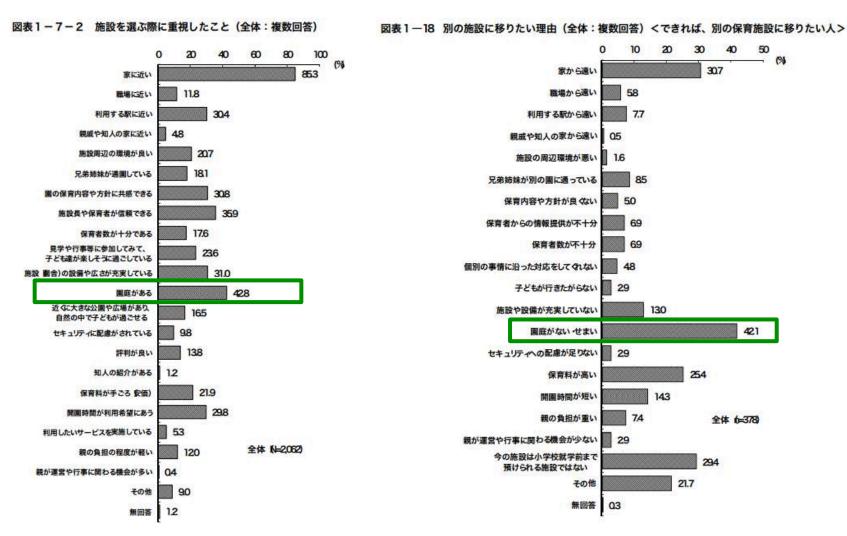
減少する園庭... 東京23区の子どもたちの育ちは大丈夫か... この惨状に拍車をかけてはいけない

認可保育所の園庭保有率(ゼロの自治体は非回答)



出典:保育園を考える親の会「100都市保育力充実度チェック」2015年度版

## <u>保護者も、園庭があり十分に運動ができる施設を</u> 望んでいる。転園希望の理由ではNo.1。



# ②集団の一員となる必要性

「3、4歳を過ぎると 保育園や幼稚園という 仲間集団の一員となること によって、仲間が社会的 発達に果たす役割も大き なっていく。

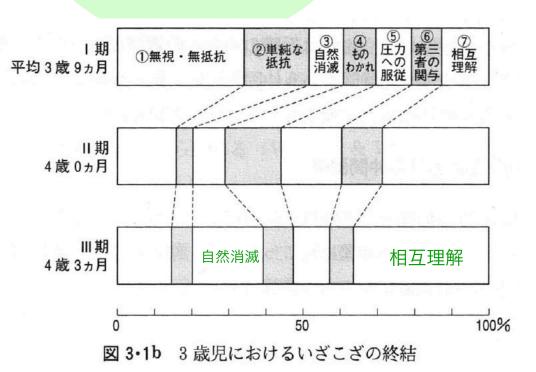
<「子どもの社会的発達」(2007 井上ら 東大出版会)より>

## 集団の中で培われるもの

ごっこ遊び ルールのある遊び けんか けんかについて 話し合う 共同で制作する 当番活動

想像が広がる 言葉で伝える 共感する 達成感を感じる 役割意識をもつ

言葉で表現する力 自分を抑制する力 相手を理解する力



集団遊びの中での「いざこざ」は、 発達に従って、次第に自然消滅、相 万理解で終結するようになる。

対等な力をもつ子ども同士のかかわり、集団活動の重要性は、疑う余地のないもの。小さな社会で、子どもは学んで行く。<図:「子どもの社会的発達」(2007 井上ら東大出版会)に掲載された木下芳子らの研究の引用>

## 以上に基づき、

拡大する0~2歳保育需要に応えるための 小規模保育の推進は良いが、

> 小規模保育で就学前まで、 というプラン及び そのための年齢制限緩和には、 強く反対を表明します。

#### 提言:

## サテライト型の小規模保育推進

既存・新設の認可保育園・認定こども園の運営者が、

本園の周辺に小規模保育を設けられるように支援する。



「3歳の壁」問題、園庭問題を解決できる。

本園との連携により、保育士の負担も軽減。



\*「3歳の壁」:小規模保育の卒園児が、3歳児での転園先が見つけられないという「壁」。小規模保育利用の不安の原因。

17

2) 面積基準の緩和について

## 日本の保育所の面積基準は低すぎる

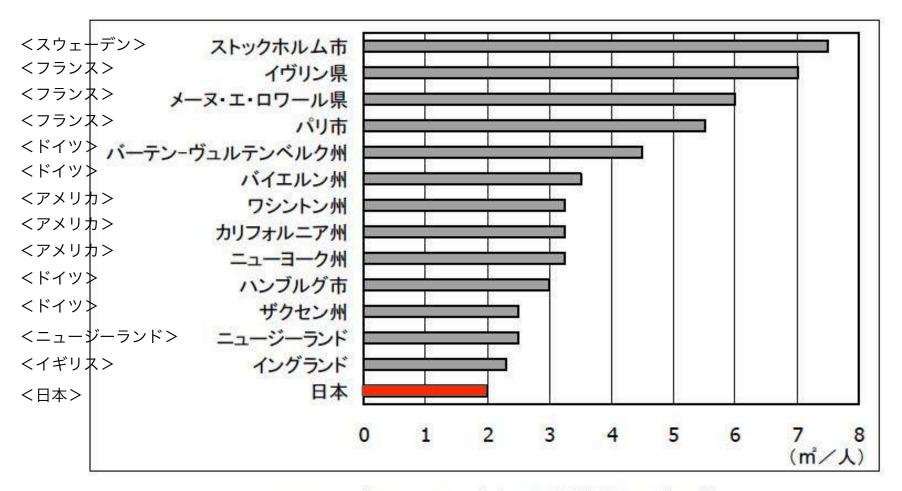


図 14 3歳以上児1人あたり面積基準の国際比較

19

出典:「機能面に着目した保育所の環境・空間に係る研究事業 総合報告書」(2009年、全国社会福祉協議会)

## なぜ、こんなに狭いのか?

1948年 児童福祉施設最低基準制定

※昭和二十三年厚生省令第六十三号 旧厚生省が児童福祉法に基づいて制定

草案の時点では子どもの利益を重視した 内容になっていましたが、 敗戦直後の施設実態を見てやむなく 大幅な引き下げが行われました。

その後60年以上、ほとんど見直しをされることなく今に至っています。

## これ以上、詰め込めません

#### 東京都基準

#### 国基準

建築の専門家が国の依頼で 算定した最低限度

2歳未満児\*: 2.5㎡

2歳以上児: 1.98㎡

2歳未満児: 3.3 m

2歳以上児: 1.98㎡

2歳未満児: 4.11m<sup>d</sup>

2歳以上児: 2.43 m

\*年度途中の入園の場合のみ。初年度の場合は3.3㎡。

\*上記は、食事の動作空間と午睡の動作空間に配膳などのための最低限の面積を 積算したもので、遊びのために必要な空間は含まれていません。

\*現在の都基準は、地方分権一括法の時限措置により、平成32年3月31日までの間、2歳未満児2.5㎡に緩和されていますが、一刻も早く国基準の3.3㎡に、ゆくゆくは「旧都基準」の0歳児5㎡まで高めることが、子どものために望まれます。なお国基準も1997年にゼロ歳児指定保育所制度が廃止されるまでは、0歳児5㎡でした。

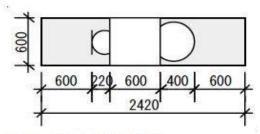


図 4 食事の動作空間 (机、幼児、保育士等の空間からなる)

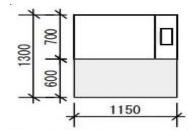
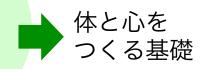


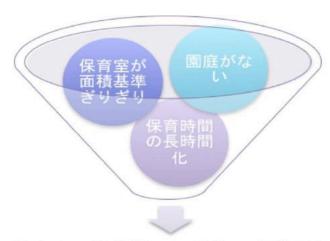
図 5 午睡の動作空間 (布団、移動等の空間からなる)

### 無理な詰め込みは保育士の負担をふやし、事故を招く

ほふく (ハイハイ) つかまり立ち 歩く 走る 飛び跳ねる おもちゃを広げて 好きな遊びをする



適正なスペースがないと、子どもは満たされない かみつき、ケガがふえる 保育士も子どものエネルギーをもてあます



保育士の負担増、子どもの環境悪化

#### 【愛知県碧南市の認可保育園での死亡事故】

1.65㎡を下回るまで0歳児を入園させた結果、「芋の子を洗うような状態」(施設長談)になり、やむなく月齢の高い子どもを1・2歳児の部屋に移した。その部屋も3.3㎡を下回っており、1・2歳児と混合の状況で特に配慮もないまま保育が行われた結果、保育士による食事の見守りが適切に行われず、おやつを喉につまらせ意識不明となり死亡。この事故の後、国は「自分で動けるようになった子どもには、1.65㎡ではなく3.3㎡が必要」という通知を改めて出した。

### 提言:

## 子どもの場所を最優先で確保

都有地(建替えする都営住宅も含め)、学校施設の活用を。

民有地が提供されやすくする支援を。

保育園は迷惑施設ではなく地域のコミュニティの核にもなる ものであることを知事が明言してください。



「学校の壁」が高いという声多し。



都内には相続税対策に悩む地主がたくさんいるので、制度で誘導を。

土地は全部大人が所有していますが、

子どもにも育つ場所を提供される権利があります。

3)命を守る監査について

#### 今春、東京都内で起きた保育事故について

2016年3月11日、

うつぶせ寝のまま2時間、

別室で1人放置された1歳2か月のお子さんが 亡くなりました。



亡くなった甲斐賢人くん

### 事故の後、

東京都は、

この施設(キッズスクウェア日本橋室町)に対して、 午睡中の観察を怠っていたことについて、 初めて行政指導を行っています。

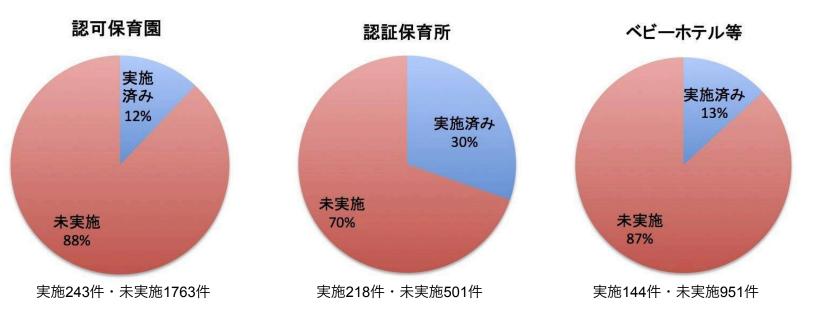
キッズスクウェア日本橋室町は2011年に開設されましたが、

東京都は開設後、一度も監査を行っていませんでした。

認可外保育施設に対しては、各自治体が年1回以上の立入調査および報告徴収を行うことが国により勧奨されており\*、他の自治体ではこれに沿った運用が行われていますが、東京都は、保育施設の急増を理由に、監査の義務を果たしていないという、にわかに信じ難い実態があります。

\*「認可外保育施設に対する指導監督の実施について」(雇児発第177号)

#### 2016年度 東京都の指導検査の実施状況

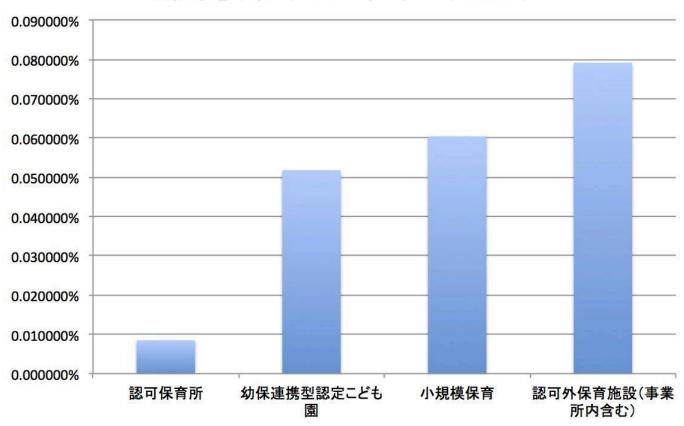


出典:東京都「平成26年度指導検査報告書」より

26

#### 行政の関与が低い制度の施設ほど、死亡事故発生率が高い

#### 施設数を母数とする死亡事故発生率(2015年)



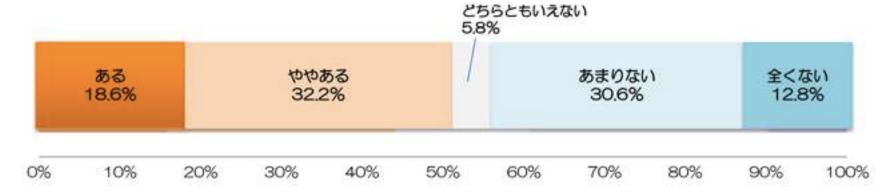
内閣府「教育・保育施設等における事故報告集計」 (2016)から作成

2015年の全国の死亡事故件数は14件。

行政の関与が強い制度の施設ほど死亡事故発生率は低く、 その違いは十倍~数十倍にもなる。この傾向は毎年変わらない。

## 「園の運営に対して不安に感じる」親は50.8%

#### 子どもが通う保育施設での運営面での不安



#### 子どもが通う保育施設での保育士不足



出典:2016年5月 日経DUAL調査

\*母集団の親の77.4パーセントは認可保育園に通わせている。

## いま、保育所で実際に起きていること

「登園時やお迎えのとき、子どもが泣いていても放っておかれているのを見かける」

「朝夕の保育士が少ない時間帯、子どもにテレビを見せている。<u>赤ちゃんも個別にケージの中</u>に入れられている」

「園庭がないのに<u>散歩は毎日は行くことができない</u>」

<u>「子どもへの厳しい声かけが多い</u>」「余裕がなく子どもの言動にいつも怒ってばかりいる」

「<u>おもらししていても、パンツが濡れたまま放置</u>されている」「ウンチをしたのかも分からない」「毎回お迎え時にはおむつの重みで歩行できないほどになっている」

「預けたマグを週末に受け取ったときにカビが生えていた」

「<u>ズボンが破れるくらいのケガをしていたのに、気づかれていな</u>かった」

「散歩中に子どもの骨折事故が発生」

出典:2016年5月 日経DUAL調査 \*母集団の親の77.4パーセントは認可保育園に通わせている。

### 提言:

## 指導検査部門の強化

認可・認証・ベビーホテル合わせて50人体制とする \*現在18人

## 基礎自治体への権限の委譲

全数検査ができる基礎自治体に限定して権限を委譲する



福祉保健部局経験の退職者を再任用して「保育Gメン」

として活用をする

都内の保育利用児童約28万人(認可外含め) 1 人当たりの年間コストは1000円程度。

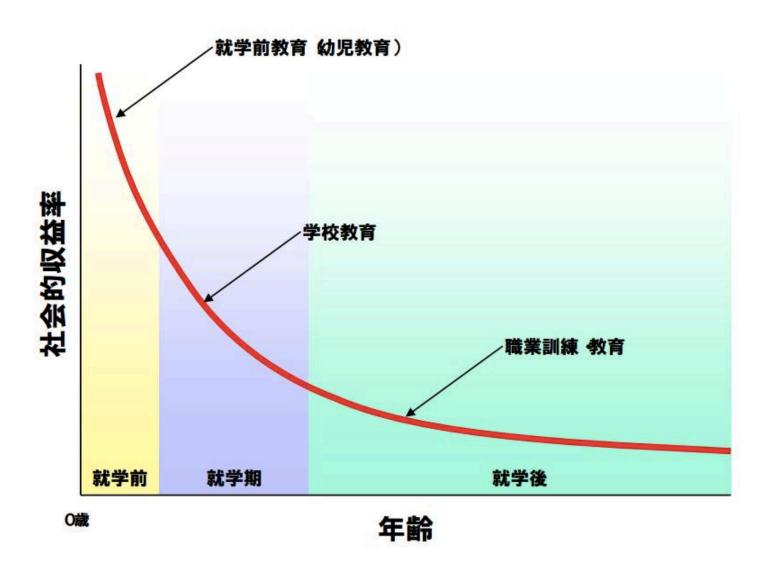


基礎自治体の施設への指導力が強まれば保育の質の向上につながる

死亡事故の発生率は、行政の関与が強いほど低い

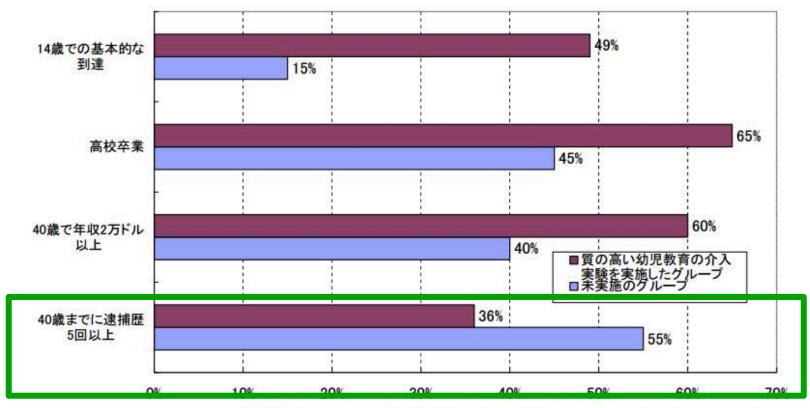
## 最後に

#### 乳幼児への教育費用投資は、最も費用対効果が高い



#### 質の高い幼児教育は、将来の社会保障費の削減につながる

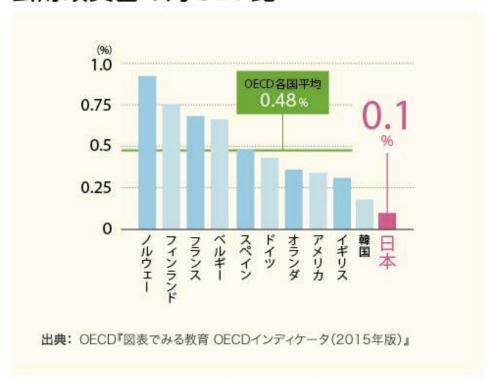
(資料4)ペリー就学前実験における40歳での主な結果



[出典] Starting Strong II; EARLY CHILDHOOD EDUCATION AND CARE (OECD, 2006)
Source; Schweinhart, L. and J. montie (2004), "Significant Benefits: The High/Scope Perry,
Pre-school Study thorough Age 40".High/Scope Educational Research Foundation

#### 日本は幼児教育にかける公金が著しく低い。

#### 就学前教育機関に対する 公財政支出の対GDP比



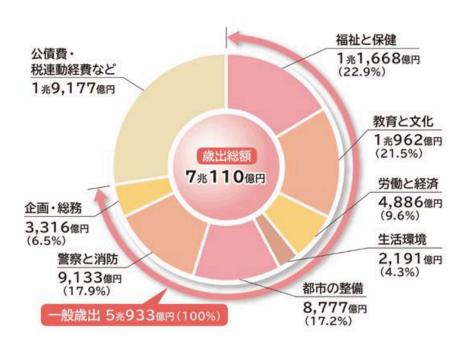
## 就学前教育機関に対する教育支出の公私負担割合



グラフ出典:子ども応援便り http://kodomo-ouen.com/questionnaire/18.html

### 都の全体予算の規模からすれば、財源の捻出は容易

平成28年度(2016年度) 東京都予算案 歳出合計



「いずれにしてもその待機児童関連の予算というか、保育所関連の予算というのは、確か650億くらいね。それにあと150億つければ、5万人収容できると言ったらね、150億と言ったら、都の予算でいったら瞬きくらいですよ。その意思を持つということですよね。」

小池知事 インタビューより

出典: Japan in depth http://japan-indepth.jp/?p=28923

#### 海外の記者からも、日本の待機児童問題・保育の質の低下が注目されています。



